9月６日（金）3年4年　森と水の源流館・大滝ダムに行きました

9月6日（金）に、森と水の源流館と大滝ダム・学べる防災へ行きました。午前は森と水の源流館へ行き、川の上流・中流・下流にいる生き物についてや、川上村の発展に尽くした人々と川上宣言になどについて学びました。

午後からは、大滝ダム・学べる防災ステーションへ行きました。豪雨体験をしました。1959年に5098人が亡くなった伊勢湾台風の際、川上村に降った雨量の118mmや、人類が経験したことのない雨量600mmが降ってくるのを体験しました。

豪雨体験の後は、館長さんから大滝ダムができた理由や役割、水の怖さや大切さを教えていただきました。大滝ダムを造る時に、吉野川の下流に住む180万人の人々の生活を守るために多くの人が自分の家や思い出の地を沈められたことに驚きと感謝の気持ちでいっぱいになりました。今後も防災について子どもたちと考えていきたいです。